

4-3

職員の意識改革

職員の仕事に対する姿勢と責任感の意識向上を図る

意識改革

業務改善

養護老人ホーム 万寿園

相談員・福原嵩人

相談員・東郷智恵

東京都東村山市富士見町2-1-3

TEL 042-391-2578

E-mail manjuen@poppy.ocn.ne.jp

FAX 042-392-1733

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~sousei2/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人東京蒼生会 万寿園は定員150名の養護老人ホームです。建物内に
経費A型が併設されているほか、特別養護老人ホーム、デイ・サービスセンター、
居宅介護支援センター、ヘルパーステーション、居宅介護支援事務所があります。

＜取り組んだ課題＞

- ・ 新型養護への以降に伴い、これまでの仕事のやり方を改善していく必要があった。
- 業務改善委員会にて「意識改革」を議題にあげ、職員の仕事に対する姿勢や責任感の意識向上を図る。

＜具体的な取り組み＞

- 仕事に対する意識を高める為には何が必要か各職員2つ以上の意見を提出した。
- 自己チェックシートの作成
提出内容を分析し、下記の4項目に分類ができた。分類を基にアンケート形式の自己チェックシート様式を作成した。

- ①利用者に対する姿勢 ③個人の姿勢
- ②職員感の連携 ④職員環境

○ アンケートの実施

- ・ 月に自己チェックシートを作成。
- ・ 自己反省を記入し、施設長に3ヶ月間提出をした。
- ・ 月に施設長のコメントを記入し、各職員と面接を行なった。

○ アンケートの集計

- ・ 月ごとにアンケート集計を冊子に纏め、全職員に周知した。
- ・ 3ヶ月分のアンケート集計を冊子に纏め、全職員に周知した。

＜活動の成果と評価＞

自己チェックシートの集計周知にて

- 職員の生の声により、自らチェックシートを仕上げた達成感が得られた。

- 職員の仕事に対する志向が表面化し、新しい発見ができた。

- アンケート集計の結果から職場の課題が表面化し、課題の解決をしようとする問題意識が得られた。

- ・ 各セクションの連携・協働をいかにスムーズに進めるか
- ・ やりがいのある職場をいかにして作り上げていくか

＜今後の課題＞

○ 職員の意識改革の推進

- （利用者の尊厳を支えるケアの実現を目指す。）
- 職員間の連携・協働による職場環境の改善
（明るく遠く甲斐のある職場作りに取り組む。）